

社長の経営哲学の構築にお役立ちする

経営者への活きた言葉

税理士法人 優和

TEL 03-3455-6666

FAX 03-3455-7777

経営者への活きた言葉

倫理資本主義の概念 マルクス・ガブリエル（哲学者、独ボン大学教授）

- 20世紀を代表する経済学者、ヨーゼフ・シュンペーターは、市場経済はイノベーションによって変化しているため、企業は「創造的破壊」を起こし続けなければ、生き残ることができないと提唱しました。これは水の流れと同じです。水は流れる道を見つけ、環境に適応します。水には無限に順応性があります。これこそ、まさに資本主義の利点です。資本主義のおかげで、近代民主主義が誕生し、現代のイノベーションの形態が産業につながったのです。
- ところが、その産業が環境問題を引き起こしました。環境危機を引き起こしたのは、資本主義ではなく、産業です。だから、解決策は、「より優れた産業を生み出すこと」なのです。
- ここで重要なのが、道徳を資本主義に取り入れることです。資本主義は、人々が互いに助け合うことから価値を生み出します。つまり、資本主義は、問題を引き起こすものではなく、問題を解決するための道徳的なインフラを持っているということです。これが倫理資本主義の概念です。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2024年12月28日・2025年1月4日号)

ワンポイント経営アドバイス

非同族への移行で柱になるのが経営理念

- 非上場の中堅・中小企業を中心に、事業承継は同族内で行われるというイメージが根強い。ただ、近年は中堅・中小企業を含めて脱ファミリー化の傾向が年々、強まっている。香川県東かがわ市に本社を置く手袋メーカーは創業家一族らが持つ全株式を22年11月、ゆうちょ銀行やKDDIなどが出資する日本共創プラットフォームに売却した。創業家には後継者がおらず、生え抜き社員の後継者も育成していなかった。事業は堅調だったが、伸び悩んでいた。
- 大手企業でも今、同族経営は転換点を迎えている。2023年、オムロンでは創業家の立石家の取締役が1933年の創業以来、初めて不在となった。創業家出身で2023年まで会長を務めた立石文雄氏は、退任の理由の一つに、経営理念が浸透したことを挙げた。創業家出身の経営者が非同族経営へ移行に臨む際、求められるのは「創業家」という強い求心力がなくても自律的に機能する組織づくり。それを支える柱が経営理念だ。(参考:「日経ビジネス」2024年12月16日号)

新規成長分野

五分百円家事代行業 古市盛久（御用聞き社長）

- 日常生活に潜む困り事を解決することにこそ、需要があるのではないかと。実際に高齢者の方々に接するにつれ、その確信は深まっていき2010年、活動の原点となる家事代行サービスを始めました。何より心掛けたのは、誰でも気軽に、何度でも利用可能なサービスにすること。高額な費用や定期契約が求められる一般的な便利屋とは異なり、会員制を撤廃し五分百円の百円家事代行を打ち出しました。
- 創業5年間は赤字が続きました。2015年には、カビ取りやパソコンの設定補助などの高難易度の作業を五分三百円で請け負う「たすかるサービス」が好評を博し、黒字化を実現。さらに、学生の有償ボランティアを積極的に雇用することで口コミが広がり、いまでは学生の登録者が約千名を超え、東京23区をはじめ、北海道や関西圏にまで活動エリアを広げています。(参考:「致知」2025年3月号)

古典に学ぶ

どんな厳しい状況にあっても春は訪れる

- 冬にすべての葉を落とし、枯れ枝を寒風にさらしている木は、ずっと枯れたままではありません。春が来れば必ず芽吹き、青々とした若葉を茂らせます。
- 私たちの人生も同じです。どんな厳しい状況にあったとしても、その状態が永遠に続くわけではありません。季節は巡り、春の訪れはやってきます。(参考:名取芳彦監修「空海 道を照らす言葉」:河出書房新社)